

平成 30 年度 第 2 回 逗子市国民健康保険運営協議会会議録

日時 2018 年（平成 30 年）8 月 8 日（水）

14:00～15:10

場所 市役所 5 階第 3 会議室

議題

- (1) 平成 29 年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算（案）について
- (2) その他

出席者 7 名

丸山 浩 委員 高津 惠一 委員 今村 隆男 委員 松岡 三夫 委員
池上 晃子 委員 金子 栄一 委員 田中 克彦 委員

欠席者

なし

事務局

須藤福祉部長 廣川福祉部次長 廣末国保健康課長 塚本副主幹
西海副主幹 阿部主任

傍聴者

なし

会議概要

- ・会議成立の報告
- ・資料確認

議題（１）平成 29 年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算（案）について
事務局より説明

【今村委員】資料①についてですが、予算額と実績額の差が大きい項目がありますよね。2 款 1 項 2 目や 7 款など執行率が非常に低くなっています。2 款 1 項 2 目では 56.7%、7 款だと 84%となっています。予算額と実績額の差があまりにも大きいという理由は为什么呢。

【廣末課長】まず、7 款の共同事業拠出金については、神奈川県国民健康保険団体連合会から昨年の実績に基づき、予算額が決定します。昨年の実績を基に算出するため、そこで実際の支出額との乖離が出てくることが多々あるという状況でございます。

【今村委員】昨年度の実績からある程度の見通しが立つのではないのでしょうか。これほど乖離するというのは少し理解しづらいのですが。

【廣末課長】実績を基に算出しているのですが、ここ数年でかなり医療費が増加した時期があり、それぞれの交付金等がかなり多くなった時がありました。その後、被保険者が減って医療費の伸びがかなり抑えられたこともあり、これまでのトレンドと最近のトレンドが変化したため、実際の支出と乖離することが多くなったと言えます。

【今村委員】2 款 1 項 2 目の退職被保険等者療養給付費も 56.7%で、金額的にかなり予算額と実績額の差が大きいですよ。これは退職者の方が病気をしなかったということですか。

【廣末課長】退職者医療制度自体が平成 26 年度で終了しており、対象者は今後減る一方です。予算よりも対象者の減少が大きいことから、全体として退職者の療養給付費が減っており、予算との乖離が大きくなっているという状況です。

【今村委員】なぜ退職者がそこまで減ったのですか。だいたいこういうものは統計的に読めますよね。退職者の数がいきなりドラスティックに減ったというイレギュラーな話があるのですか。

【廣末課長】平成 27 年 3 月末で新規の対象者がいなくなり、あとは減る一方です。対象者が減少していき、さらにその方たちの医療費がかからないため、予算との乖離が広がっているという形になります。

【池上委員】2 款保険給付費 4 項の出産育児一時金が 64%となっていますが、逗子における出生率が低かったということですか。

【廣末課長】実績としては、この国保の特別会計の中で出産育児一時金の支出対象となったものは 48 件でございます。ですから、やはり出生率が低くなっている状況と言えます。実は 48 件というのはここ数年で見ると、平成 28 年度の 44 件よりは若干増えていますが、その前が 58 件でしたので、やはりここ数年は減少傾向と言えます。

【池上委員】減少傾向にある、もしくは横ばいであるという状況は、予算作成時に反映されていないということですか。

【廣末課長】資料①のとおり、出産育児一時金について平成 29 年度は 64%ですので、予算と実績の乖離が少しありますが、これを踏まえて平成 30 年度予算では少し実績を加味して金額を下げいております。

【池上委員】平成 29 年度の予算を作成時には、既に平成 28 年度の出生数というのは分かっていたはずですから、少しずつ減ってきているのを見越してその出生数で予算を立てなければいけなかったのではないのでしょうか。

【廣末課長】過去どれくらいの年数で平均して見るかというところもあるのですが、平成 27 年度、平成 28 年度の件数からすると、確かに平成 29 年度の予算は少し多く見えるかもしれません。ただ、平成 29 年度の予算を立てる時にやはり過去 2 年だけではなく、もう少し前のトレンドから見ていく必要があります。実は平成 26 年度以前は、件数的にこの予算額でも足りないくらいでしたので、ここ数年の平均で見ると平成 29 年度はそれほど過大な予算計上ではなかったと思います。

【今村委員】トレンドを見ながら、逆に過去の 1 番予算が必要な数値を参考にしたということですね。トレンドからするともう少しシビアな予算を立てられるはずが、平成 26 年度や平成 25 年度の出生数が多かった年度をベースにして予算を作ったということになりますよね。トレンドと言いながらトレンドを見ていないのではないかという気がします。

【田中委員】この出産育児一時金予算の 3,150 万円を 42 万円で割ると 75 件予算計上しているのですよ。予算というのは足らなくなると困るので常に多めに計上します。過去のトレンドより多めに計上するのが健康保険あるいは国保の常であって、私は先輩からそのように教わってきました。ただ、今回のように保険料を改定した年にこのようなことがあるというのは、他の方からご指摘を受けても仕方がないとは思いますが。私も過去に予算が過大ではないかと指摘を受けた経験がありますので気持ちはよく分かります。

【池上委員】年度途中で予算が足りなくなつて補正を組むのは難しい面もありますから、多めに予算をとるといえるのは私も理解できます。しかし、先ほど田中委員がおっしゃったように保険料を値上げして、しかも国保の会計というのは一般会計から繰入金はかなりあるわけですから、予算を立てる際にもう少しシビアにやっていただきたいというのがあります。一般会計からたくさん繰り入れておいて、余ったから返しますというのではあまりにも安易すぎないかと思うわけです。

【今村委員】シビアな予算を立てて、これを見ると予備費が 500 万円しかないですね。普通このような予算は民間ではありえません。民間であれば予備費を何%か見込んだうえでシビアな予算を作ります。約 70 億円規模の予算でこの予備費とはとても考えられません。だいたひ民間企業とはかけ離れているという思いはあります。

【廣末課長】確かにおっしゃるように、自治体の一般会計の予算の立て方は、民間企業とはかなり異なっていると思います。特別会計の予算につきましては、法定外の一般会計繰入金というものがあつて自体に皆さまは違和感があると思います。予備費の 500 万円に

については、逗子市レベルの予算規模だとこの程度が普通であり、基金もあまり持っていないため、民間企業の会計と比較するととても特異な会計と言えます。

【田中委員】感想と意見、要望が各1点と質問が1点あります。

まず感想ですが、先日某市議会議員が駅前で配っていたビラを見たのですが、東洋経済新報社が毎年公表している「住みよさランキング」で、関東において神奈川県では鎌倉が10位、その次に逗子市が14位となっていました。その理由が快適度、富裕度等で高評価を得られたということですので、ぜひこのまま元気で健康な人が多い逗子市であってほしいと思います。

次に意見ですが、資料③を見ますと、平成27年度から保健事業費が少しずつ下がってきています。保健事業費は利用者が減るとそれに伴って支出が減るのですが、これは歓迎すべきことではないと思います。事務局から説明からあった健診の受診率は3割前後、保健指導の利用者の人数で説明がありましたけれども、これを率に直すと全体の2～3%だと思います。これはあまりにも低いと思いますので、何とか健診の実施率が上がるような色々な工夫をしてほしいと思っています。

3点目に要望ですが、事務局から説明があった前期高齢者納付金なのですけれども、私は被用者保険側からするとこの負担はとても大きく、前期高齢者納付金と後期高齢者支援金を合わせた金額が前年度に初めて保険給付費を上回りました。つまり、私たちの健保組合の加入者に対しての保険給付に充てる費用より、国庫を通じて前期高齢者のために市町村に交付する、あるいは後期高齢者の広域連合に交付する金額が大きくなっており、これは私たちの理解を超える部分があります。ですから先ほど申し上げたように、なかなか効果はすぐ見えるものではありませんが、保健事業に注力しながら前期高齢者や後期高齢者の方々に元気になってもらうような努力をしてほしいと思います。資料④の歳入を見ますと、前期高齢者交付金は20億を超えていますから、確かに前期高齢者交付金というのは市町村にとって本当に大きな財源になっていますよね。しかし、現役で働いている人の健康保険料の中から、かなりの部分がここに充てられているという事実を今日ご参会の皆さまにご認識をいただければと思います。

最後に質問ですけれども、資料③の歳出の総務費を見ますと、平成29年度に約2,000万円増えています。これはシステム改修等の費用だと思いますが、マイナンバー対応の関連費用も入っているのでしょうか。もしそうであった場合、事務局として実際にシステム改修のために多額の投資をして、何かメリットを享受されているのか教えていただきたいと思っています。

【廣末課長】ご質問のシステム改修につきましては、おっしゃるとおり都道府県単位化及びマイナンバー対応の改修の両方が含まれています。マイナンバー対応のために改修を行って何かメリットが生じているかどうかにつきましては、現時点における国保の事業単体ではまだあまり実感がありませんが、今後、他部門との連携によって事務の簡素化が図ら

れますので、その時はかなりメリットが享受できるのではないかと思います。

【田中委員】財政運営が都道府県単位化することによっては何か変化はありますか。

【廣末課長】平成30年度予算から、会計の中の収入、支出が神奈川県からの交付金と神奈川県への納付金、それ以外の繰入金等かなり簡素化されたというところがあります。ただ、県単位化されてからまだ数ヶ月ですので、歳入、歳出を含めた実際の変化については、年度が終わらないと分からない部分はあります。窓口の対応等は基本的には従前と変わりありませんし、現時点では県単位化による変化はあまり感じておりません。

【池上委員】今、田中委員がおっしゃった特定保健指導についてですが、現在、逗子市ではどのような形で実施しているのでしょうか。

【西海副主幹】市の保健師、管理栄養士が対象者の方に連絡して保健指導をやっています。

【池上委員】一定の時に一定の場所で指導を受けられますよという形ではないのですね。

【西海副主幹】健診後に連絡をするというやり方だとなかなか話を聞いてもらえる機会がないため、今年度から集団健診の時に腹囲や血圧等でひっかかった方に対して、その場で保健指導の案内カードをお渡ししています。健診時にすぐに保健師等と話をする機会を設けて保健指導がスムーズにいく形にしており、今年度につきましてはうまく接触ができるようになっていきます。

【池上委員】それは集団健診を受けた方の場合ですね。

【西海副主幹】はい、そうです。

【池上委員】集団健診を受ける方というのは比較的少ないのですよ。多くの方はかかりつけ医で健診を受けて、その後の保健指導もかかりつけ医から受けているという例が多いので、この保健指導を受けられる方は少ないと思います。逗子の場合、集団健診を受けて結果をもらった後、それを保健センターで相談をするのではなく、それをかかりつけ医へ持っていき、そこで色々と説明を受けたり、指導を受けたりする例が多いように感じられますので、必ずしもこの率だけではなんとも言えないと思います。

【今村委員】民間企業だと3年、5年の中期経営計画等を立て、それをターゲットにして事業を展開していきます。国民健康保険として3年、5年後に何か予算的なビジョンはあるのでしょうか。それとも、過去の実績からただ予算を立てるだけなのか、何か経営思想的なものを持って予算を立てているのかどうかについて教えていただきたいのですが。

【廣末課長】市町村の国民健康保険の運営に経営的な視点を持てば、健全な運営ができるかといえばそうではなく、制度的な限界があると思います。被保険者の保険料と、国、県いわゆる国民の負担で運営をしていく中で、被保険者の所得に応じた保険料を徴収していますが、所得の低い方などは制度上かなり負担が抑えられていますので、なかなか経営的な視点の中で運営方針を立てることは難しいところがあります。

【丸山会長】財政状況の弱い市町村国保ですと、財政安定化計画を作って中長期的に保険会計をしっかりやるということというのは義務付けられていますが、幸い逗子市はそういう

状況には至っていないかとは思いますが。

【松岡委員】資料①の歳出の6款の介護納付金について質問があります。歳出で3億1,600万円を支出しているということなのですが、これに見合う歳入というのは決算書ではどこに当たるのか、該当する歳入科目があるのかどうかを教えてくださいたいのですが。

【塚本副主幹】歳出の介護納付金につきましては、社会保険診療報酬支払基金で計算された内容に基づいて納付金として納付しています。歳入につきましては、保険料の介護納付金分の他は、この資料には明確には出てきていません。

【廣末課長】歳入科目について確認し、議事録に回答を同封する形でご報告させていただきます。

【丸山会長】色々なご意見が出ましたけれども何か他にございますか。特段ないようですので議題（1）の平成29年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算（案）につきましてはご了承いただいたということでよろしいですか。他にご意見はないようですので原案のとおりとさせていただきます。

議題（2）その他

【廣末課長】次回の運営協議会の日時等につきましては、来年2月上旬頃を予定しています。議題としまして、1つ目は国民健康保険条例の一部改正につきまして、現在9期の納期を10期に変更するという条例改正の提案を予定しております。その結果につきましても次回の運営協議会の中でご報告をさせていただければと考えております。2つ目は平成31年度の国保特別会計の予算案についてのご審議、3つ目は平成30年度中に補正を行う補正予算案の内容につきましてご説明をさせていただきたいと思います。具体的な日時の調整はまた私から連絡させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。

【丸山会長】ただいまの説明について何かご意見やご質問はございますか。特になければ本日の議題は全て終了しましたのでこれで閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会